

発刊のことば

公共図書館のサービスの基本は、住民の求める資料や情報を提供することにあります。そのために、うるま市立図書館では貸出、レファレンス・サービスを主な業務とし、その他各種の行事に取り組んでおります。

うるま市には中央図書館、石川図書館、勝連図書館の3館があります。市民はこの3館のどこでも同じ充実したサービスを受けることができます。この3館をより有効的な利用ができるようにするため、中央図書館は調査・研究に対応できる図書館として、石川図書館は市民に親しみやすい郷土関係資料の充実した図書館として、勝連図書館は児童用資料の充実した図書館として、それぞれの整備目標を持って図書館サービスの向上を図っております。

今年度は、うるま市立図書館システムの更新年になっておりますが、市民の皆さまがこれまで以上の図書館サービスを受けられるよう、システムの改良に努めてまいります。

平成23年4月現在の登録率が43%となっておりますが、まだ図書館に一度も来館したことのない市民も多く、そのため、さまざまな広報手段を活用しながら図書館利用の向上に努めてまいりたいと考えております。

図書館は、常に新鮮な情報を幅広く市民に提供していくことが求められ、魅力ある施設であることが重要であるとされておりますが、実態は厳しい財政事情を反映し資料費等に十分な予算が付かないのが現状であります。

このような状況の中、市民が必要とする資料は多種多様であり、市単独の図書館が所蔵する資料だけでは、市民の要求に十分応えられないことがあります。そのため、国立図書館をはじめ県立図書館、他市町村の図書館と相互に補完し協力することによって、市民の多様な資料要求に応える相互貸借制度を活用しておりますので、市民の皆さまの一層のご利用を願っております。

乳幼児・児童・青少年の人間形成において、豊かな読書経験が重要であるといわれております。うるま市立図書館では、児童書・絵本・紙芝居などの資料の充実を図るとともに図書館行事として定例のお話会のほかに生涯学習の一環として役立つ講座や絵本・紙芝居等の読み聞かせ、人形劇などの事業も行っています。

本冊子は、図書館活動について、行事ごとにまとめるなど見やすくするよう工夫をしておりますが、ご高覧いただきお気づきの点等ございましたら、ご一報いただければ幸いです。

市民皆さまの一層のご利用を心からお願い申し上げまして、発刊のことばといたします。